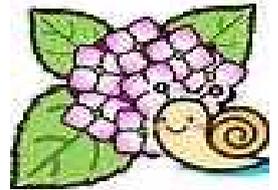


# でんでんむし



## 2月です。



2月になりました。まだまだ寒い日が続いていますが、支援センターでは、子どもたちの元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れてしまいます。



さて、今年は2月3日が立春です。春の始まりです。その前の日(2日)が節分となります。「節分」は、季節のわかれめということで、1年に4回、立春・立夏・立秋・立冬の前日に、それぞれ「節分」があります。しかし現在は、冬から春への「節分」だけが残っています。厳しい寒さの冬にとじ込められ、春を待ち、すべてが活動し始めることを待ち望んでいるということがよくわかります。子どもたちが、邪気(悪い気)を払って、新しく迎える春に向かって元気に過ごしてほしいと願っています。



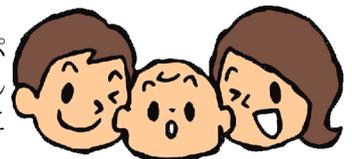
まだまだ新型コロナウイルスの脅威が収まる気配がありません。アルコール消毒や手洗い、うがい、外出時はマスク着用、三密の厳守など、子どもの健康管理はもちろんですが、パパ・ママの健康管理もしっかりお願いしますね。

### ～子育てワンポイントアドバイス～ -三つ子の魂って?-



「三つ子の魂、百まで」ということわざは昔からいわれていることですが、それは具体的にいえばどういうことなのでしょう。このことわざは、3歳児を中心とした幼児期の育て方、しつけ方は、その子の、のちの人生に大きな影響を与えるということをいっています。

出生から3歳までの3年間は、人として脳の発達する重要な時期であり、つまり「脳の土台づくり」の時なのです。そして知的、社会的、性格的なそれぞれの面で、その基礎ができあがると同時に、親子関係の“絆”を深め、強めることが最も求められる大切な時期でもあります。親子の“絆”を深めるために、一番大切なことは、親子の間に“愛と信頼感”を育てることです。そのためには「肌のふれあい」「笑顔のふれあい」「言葉のふれあい」を十分にすることで。例えば、「ひざにさせる」「頭をなでる」「抱っこする」「おんぶする」「手を握る」「添い寝する」、また、笑顔で「目と目の見つめ合い」「語りかける」など、パパもママも子どもとの「ふれあい」の機会をどんどん作っていくことです。それが知的、社会的、性格的にもよりよい方向につながっていくこととなります。



### ～ 子育て支援センター「でんでんむし」の1月のイベントから ～



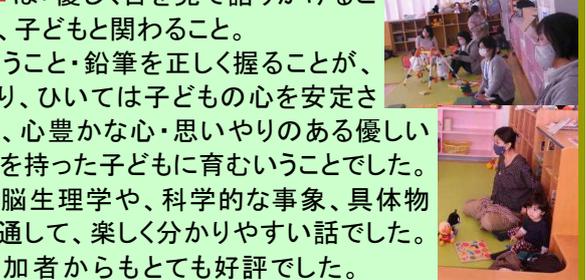
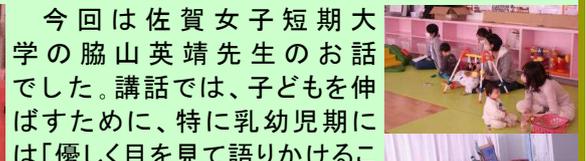
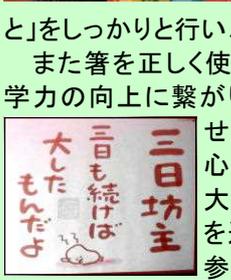
#### 第6回「ママカフェ」7日(木)

今年初めてのママカフェでした。9組、19名の参加でした。みんなでお菓子をつまみ、お茶を飲み、楽しく語らい…。子どもたちもおもちゃで遊んだり、お菓子を食べて…。しっかりと楽しんでくれました。天気が悪い中、ご参加ありがとうございました。(\*^~^\*)❤



#### 「子育て講演会」28日(木) 演題:「小学校から見える乳幼児期」

今回は佐賀女子短期大学の脇山英靖先生のお話でした。講話では、子どもを伸ばすために、特に乳幼児期には「優しく目を見て語りかけること」をしっかりと行い、子どもと関わること。また箸を正しく使うこと・鉛筆を正しく握ることが、学力の向上に繋がり、ひいては子どもの心を安定させ、心豊かな心・思いやりのある優しい心を持った子どもに育むいうことでした。大脳生理学や、科学的な事象、具体物を通して、楽しく分かりやすい話でした。参加者からもとても好評でした。



## 今月のメニュー

☆連絡先 多久市児童センター内 子育て支援センター ☆

- 11日 「ママカフェ」 10:30～
- 11日 14:30～ 「食育相談会」
- 講師:佐賀女子短期大学 助手 西原由紀先生
- 16日 10:30～ 「お誕生日おめでとう」※児童館と合同
- 18日 10:30～ 「子育て講演会」
- 講師:佐賀女子短期大学 准教授 山田久三江先生
- 21日 10:00～ 児童センター「文化祭」
- ※全ての講座、イベントで託児あります。
- [Tel 0952-37-1117](みんないっしょにいっしょ)

